

## 編 集 後 記

『独逸文学』63号をお届けします。

今回は規格外とも言える大きな原稿がありました。昔から原稿のページ数に関する規定がある一方、前号がそうであったように、原稿が少なく薄い冊子になるのも避けたいところで、痛しかゆしです。これまでエッセイは事実上、留学体験記だけでしたが、今回はそれとは異なる原稿も寄せられました。今後は伝統的なスタイルを維持しながら、こうした多様性も模索していきたいと思います。

編集委員：柏木貴久子、齊藤公輔、芝田豊彦、工藤康弘（責任者）

### 当学会誌の編集方針

1. 本学会誌の内容はドイツ語圏の言語・文学・文化およびドイツ語教育に関する論文、マルジナリア、書評、翻訳、エッセイなどとし、原則として会員からの投稿とする。ただし、編集委員が会員以外に特別に原稿を依頼することがある。その他に、シンポジウム報告、修士論文要旨、学生の優秀論文要旨、卒業論文題目一覧、本学会の行事記録、前年度の会計報告を掲載する。
2. 投稿原稿の採否は編集委員会が行う。その場合、査読を編集委員以外に別に委嘱することがある。
3. 執筆要領は別に定める。
4. 投稿希望者は予定題目とその概要を期日までに編集委員会宛にあらかじめ提出しなければならない。詳細は次号執筆要領を参照のこと。

独 逸 文 学 63	
2019年3月20日 発行	関西大学独逸文学会
編集兼 発行者	吹田市山手町3-3-35 関大独文研究室内 電話・大阪(06)6368-0324
郵便振替口座	00910-5-116831
口座名称	関西大学独逸文学会
印刷所	株式会社 田中プリント

(非売品)